

2024年度

情報学部小論文問題

(学校推薦型選抜)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊（8頁）、解答用紙は文系型2枚、理系型6枚、下書用紙は文系型2枚、理系型1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 氏名と受験番号はすべての解答用紙（8枚）の所定の欄に記入してください。
4. 小論文の問題は「文系型」（1～6頁）と「理系型」（7～8頁）の2種類です。どちらかの型を選択して解答してください。組み合わせで選択することはできません。解答用紙の選択欄は該当する型のみにもれなく「○」を記入してください。
5. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
6. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
7. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

文

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者に掲載許諾申請中

著作権者に掲載許諾申請中

著作権者に掲載許諾申請中

著作権者に掲載許諾申請中

著作権者に掲載許諾申請中

出典：住吉雅美『あぶない法哲学 常識に盾突く思考のレッスン』

(講談社現代新書 2020年)

(出題の都合上、原文の表記を変更した箇所がある)

※ ジョン・ロールズ (1921-2002)

= アメリカの哲学者であり、正義について研究し、現代の正義論論争の口火を切ったことで有名である。

文 問1 ドゥオーキンの考える「平等」とはどのようなものか。本文にそくして説明しなさい。(400字程度)

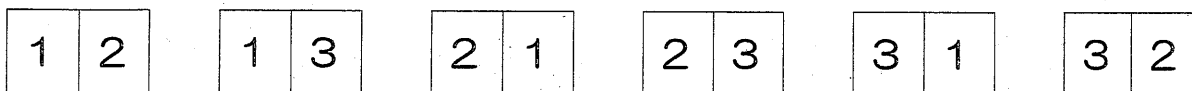
文 問2 下線部で著者は、民主主義社会における「一人一票」制の正当性に言及しているが、あなたは「一人一票」制を「平等」な制度と考えるか。本文にそくして平等の必要性をふまえて説明しなさい。(600字程度)

理

問 1 次の文章を読んで、問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4 に答えよ。

m, n を正の整数とする。横 m 行、縦 n 列に配置されたそれぞれのマスに、1 から 3 の数字のうち 1 つを入れることを考える。ただし、辺で接した隣り合うマスには、互いに異なる数字が入るものとする。

例えば、 $m = 1, n = 2$ のときは、以下に示す 6 通りの入れ方がある。



問 1-1 $m = 1, n = 3$ のとき、数字の入れ方の総数はいくつか。

問 1-2 $m = 1, n = 10$ のとき、数字の入れ方の総数はいくつか。その理由を含めて述べよ。

問 1-3 $m \geq 1$ に対して、行数を m 、列数を 2 としたときの、数字の入れ方の総数を a_m とおく。

(a) $m \geq 2$ に対して、 $a_m = 3a_{m-1}$ を満たすことを説明せよ。

(b) a_m を m を使った式で表せ。

問 1-4 $m = 3, n = 3$ のとき、数字の入れ方の総数はいくつか。その理由を含めて述べよ。

理

問 2 次の文章を読んで、問 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5 に答えよ。

ある大学のある学部のある学科に所属する 60 人の学生について、講義 1, 講義 2, 講義 3 の単位修得状況を調べたところ次の結果を得た。

- 講義 1 の単位を修得した学生は 32 人
- 講義 2 の単位を修得した学生は 23 人
- 講義 1 と講義 2 の両方の単位を修得した学生は 13 人
- 講義 2 と講義 3 の両方の単位を修得した学生は 13 人
- 講義 1 と講義 3 のうち少なくとも 1 つの単位を修得した学生は 43 人
- 講義 2 と講義 3 のうち少なくとも 1 つの単位を修得した学生は 32 人
- 講義 1, 講義 2, 講義 3 のすべての単位を修得した学生は 6 人

問 2-1 講義 3 の単位を修得した学生の人数は 22 人となる。その理由を述べよ。

問 2-2 講義 1 と講義 3 の両方の単位を修得した学生の人数は 11 人となる。その理由を述べよ。

問 2-3 講義 1, 講義 2, 講義 3 のうち 2 つだけの単位を修得した学生の人数は何人であるか。その理由を含めて述べよ。

問 2-4 講義 1, 講義 2, 講義 3 のうち 1 つだけの単位を修得した学生の人数は何人であるか。その理由を含めて述べよ。

問 2-5 講義 1, 講義 2, 講義 3 のいずれの単位も修得しなかった学生の人数は何人であるか。その理由を含めて述べよ。